

平成 25 年度

社会福祉法人 湖南省社会福祉協議会

事業報告

＝ 事業総括 ＝

少子・高齢化の急速な進行や家族の形態、生活様式、働き方の変化などにより、家族間のつながりや地域社会での連帯感は希薄化し、さらに経済情勢や雇用環境など長期化する社会の厳しさと相まって、悪質商法、児童や高齢者などへの虐待、いじめ、ひきこもり、孤独死、自殺等といった社会問題や人権問題など、福祉課題は深刻化しています。

このような中、地域でのふれあいや支え合いなど地域福祉活動の推進を目指している本会の使命はますます重要になってきているものの、会費や寄付金、補助金、委託金といった財源収入が伸び悩んでいる現状から、市民の福祉ニーズに応えるためには一段と厳しい状況にあります。

平成 25 年度においては、湖南省より財政的に厳しい中でも支援を得て、地域に求められる福祉活動やボランティアセンター事業を推進し、委託事業をはじめ、介護保険や障がい者総合支援などの居宅介護事業や共同募金運動、赤十字活動など多岐にわたる事業を展開しました。

中でも、地域福祉関連では、第二次地域福祉活動計画に掲げた生活支援講座や見守り活動などの地域支えあい事業や、まちづくり協議会による地域福祉活動への支援、災害ボランティア講座の開催など住民参加型の事業を実施しました。また、居宅介護関連では、10 月からの障がい者への同行援護事業を新たに展開し、訪問介護事業や居宅介護支援事業といった高齢者への介護活動などと共に安定的なサービス提供を進めました。

こうした中、居宅介護事業安定化基金や災害援護基金といったこれからの事業展開に必要な財源の確保に向けた対策を新たに講じ、先を見据えた法人運営に取り組むとともに、会費や寄付金など財源の確保に向けた検討を始めました。

今後も、事業の見直しや財源確保に向け、対策の強化を図っていかねばなりません。

## 1. 法人運営事業

(1) 本部事業 【 68,132,311 円】

《法人運営事務》

○理事会議の開催

開催日	案	件
25年5月27日	議案第1号	平成24年度事業報告、貸借対照表、財産目録、一般会計収支計算書について
	議案第2号	災害援護積立金、居宅介護事業安定化積立金 積み立てについて
	議案第3号	評議員の選任について
25年6月1日	議案第1号	会長、副会長の選任について
25年12月24日	議案第1号	給与規程の改正について
	議案第2号	評議員選任について
26年3月24日	議案第1号	諸規定（事務局の組織と運営に関する規定、給与規程）の改正について
	議案第2号	基金積立金（福祉基金積立金積立金）の取り崩しについて
	議案第3号	平成26年度事業計画、予算（一般会計収支計算書）について

○評議員会の開催

開催日	おもな協議内容	
25年5月29日	議案第1号	平成24年度事業報告、貸借対照表、財産目録、一般会計収支計算書について
	議案第2号	理事、監事の選任について
文書審議	議案第1号	理事の選任について
26年3月26日	議案第1号	平成26年度事業計画、予算（一般会計収支計算書）について

○監査の開催

開催日	おもな内容
25年5月16日	平成24年度事業報告、決算、会務運営の監査について

○その他

開催日	会議名（協議内容）
25年6月26日	新役員・新評議員に対する説明会 （体制、事業内容、予算等について）

25年12月19日	福祉サービス第三者委員会 (苦情受付体制の確認と各福祉サービスでの苦情受付状況の報告)
26年1月31日	財源検討部会 (会員増強と会費の増額、財源使途について)

○会費の納入依頼と徴収

7月 世帯会費依頼と徴収 ( 5,976,758 円)

8月 法人・事業所会費依頼と徴収 ( 679,000 円)

・高額会費 (30,000 円以上) 納入事業所の広告を本会広報紙に掲載

対象 5社 掲載 3社

## 2. 地域福祉事業

### (1) 生活福祉貸付事業 【 1,816,871 円】

#### 《生活福祉資金貸付事業》

生活に困窮した方(世帯)からの経済的な悩みの相談を受け、必要に応じ貸付制度の利用手続きを進めたほか、善意銀行事業による生活食料品支援や、生活保護の対象と考えられる世帯を行政へ繋ぐなど関係機関との連携を行った。

○生活保護受給予定世帯を対象としての貸付(市)

種 類	件 数	貸 付
生活保護予定世帯繋ぎ小口資金		31 <昨年 18>

○生活緊急一時としての貸付(県)

種 類	件 数	相 談	貸 付
緊急小口資金	42	<昨年 57>	4 <昨年 9>
臨時特例つなぎ資金	1	<昨年 0>	0 <昨年 0>

○失業による生活貸付(県)

種 類	件 数	相 談	貸 付
総合支援資金	54	<昨年 69>	17 <昨年 31>

○福祉による目的に応じた貸付（県）

種 類 \ 件 数	相 談	貸 付
福祉資金	32 <昨年 39>	3 <昨年 6>
教育支援	13 <昨年 10>	5 <昨年 3>

《行路者旅費貸付事業》

行路者に対する旅費として、切符により貸し付けた。

6件（内訳 柘植方面 0件 草津方面 6件） <昨年 15件>

(2) 地域福祉権利擁護事業 【 429,610 円】

判断の困難な方を対象に、日常の金銭管理や大切な物の保管など生活支援を行った。

・契約件数：55件 <昨年 59件>

内訳： 認知症高齢者等 12件 知的障がい者等 26件  
精神障がい者等 15件 その他 2件

・年度内新規契約：5件（認知1、知的0、精神3 その他1）

解約：9件（認知5、知的1、精神2、その他1）

問合わせ、相談援助件数	認知	知的	精神	その他	計
問合わせ	1	0	1	0	3
問合わせ初回相談	57	11	35	1	104
相談援助	425	821	976	59	2,281
計	483	832	1012	61	2,388
<昨年度計>	(812)	(1,181)	(656)	(104)	(2,753)

(3) 地域福祉活動事業 【 1,233,119 円】

《地域福祉活動推進事業》

○地域たまり場づくり事業

管理する施設での施設事業と目的に沿ったたまり場事業の実施

石部老人福祉センター	高齢者を対象とした「みんなの日」の開催
ふれあいの館	ボランティアの協力による「ハッピータイム」の開催
社会福祉センター	1階ロビーでのコーナーとテレビの設置

○地域福祉支援事業

学区ごとに担当職員を配置し、まちづくり協議会活動への協力や地域での支援活動を行った。

○地域見守り体制の構築

生活支援サポーターによる地域での見守り活動をモデル事業として実施し、一人暮らし高齢者を対象に見守り活動を始めた。

《小地域福祉活動事業推進交付金事業》

まちづくり協議会が実施する小地域福祉活動を支援するため、交付金制度を設け、5つのまちづくり協議会が交付金を活用した事業を実施された。

- ・交付金を活用したまちづくり協議会

石部南学区、岩根、菩提寺、下田、水戸の各まちづくり協議会

- ・交付金審査委員会の開催

開催日 4月26日

- ・事業経過報告会の開催

開催日 2月8日

内容 ・各まちづくり協議会の事業発表  
・講演 — 野洲市 近江富士第五区自治会  
「健康福祉委員会の取り組み」

参加者 約80名

(4) 活動助成事業 【 3,811,172 円】

《地区活動助成事業》

社協会費の還元による各区への福祉活動助成

平成25度の世帯会費(5,976,758円)を各区毎に、総額の15%を地域福祉活動のために還元した。(地域福祉活動奨励金)

還元額合計 897,800円 <昨年 916,100円>

《福祉団体活動助成事業》

市内の福祉関係団体に対し活動費を助成した。(12団体)

《小地域福祉推進事業》

○石部地域での小地域福祉活動の推進

- ・福祉協力員の委嘱
- ・福祉協力員研修会の実施 5月8日(水)
- ・小地域福祉活動事業補助  
ふれあいサロンの実施 9地区 延べ98回 <昨年90回>  
見守り・安否確認活動 3地区 17回 <昨年14回>

《福祉活動推進校活動助成事業》

共同募金委員会事業へ移行 <昨年7校>

(5) 敬老会開催事業 【 3,385,882 円】

《敬老会開催助成事業》

各区、高齢者施設で開催される敬老会に対して 70 歳以上の人口割で開催費用の助成を行った。

- ・助成総額 3,121,000 円

《敬老祝品贈呈事業》

85 歳、88 歳、90 歳、99 歳、100 歳以上の方々に祝品を贈呈した。

- ・助成対象人数 433 名 <昨年 390 名>

(6) ボランティアセンター活動事業 【 4,691,526 円】

《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

情報提供

- ・平成 24 年度湖南省市ボランティアセンター活動実績報告冊子 800 部
- ・社協広報「福祉の輪」のボランティアセンターだより
- ・市広報にてボランティア講座、シルバー教室などの参加者募集及びボランティアまつりお知らせなどを掲載

《ボランティア活動に対する相談、助言と調整》

ボランティア依頼と調整

市内福祉施設、高齢者サロン、幼稚園、保育園、小中高等学校、子育てサロン、学童保育、まちづくりセンター、国際協会、自治会など

《ボランティア講座の開催などによるボランティアの育成》

- 生活支援サポーター講座 (全 4 回) 参加者 34 名
- 災害ボランティア講座 (全 5 回) 参加者 37 名
- 環境ボランティア講座 (全 6 回) 参加者 24 名
- 障がい児支援ボランティア・スタッフ養成講座 (全 3 回) 参加者 23 名

～終了後、ホリデースクール事業参加～

- 中高生ボランティア体験 (全 3 回) 参加者 28 名

【手話体験と一人暮らし高齢者のための給食づくりと配食を体験】

- ボランティア体験講座 (全 5 回) 参加者 12 名

【ボランティア入門、給食づくり、車いす・アイマスク体験、手話、ボランティアの人たちの話】

～終了後、レイカディア大学 園芸クラブや交流会へ参加～

- シルバーウクレレ教室 (全6回) 参加者 14名  
～終了後、教室を自主活動として継続～
- シルバー写真教室 (全6回) 参加者 20名  
～終了後、教室を自主活動として継続～
- 親子自然であそぼ教室 (全2回) 18組参加
- ボランティアの親子教室 (全3回) 10組参加
- レイカディア大学ボランティア体験説明会
- 市内小中高校の体験学習

三雲東小学校	5年生 48名	アイマスク・車いす体験
石部高校	3年生 7名	手話体験、7/23・25 ホリデースクール参加
三雲小学校	4年生 66名	車いす・アイマスク体験、視覚障がい者のお話、点字体験
下田小学校	3年生 47名	点字体験

#### 《ボランティア活動の組織化や交流の促進》

- 第25回ボランティア祭り 平成25年11月2日(土)  
市民にボランティア活動を知ってもらったり、ボランティアとの交流、ボランティア同士の交流を図るため年1回開催。2,000名を超える来場者があった。

《当日参加ボランティア》62グループ 494名 (前年度415名)
《一般体験コーナー参加人数》140名 《景品引き換え》 362名

- 鯖江市ボランティア連絡協議会との交流  
鯖江市より計33名が来所、湖南市ボランティア16名と交流
- 国際交流活動  
国際協会の協力により、中国、ペルー、フィリピンの方と給食やお菓子作りの交流を開催。合計35人が参加。

#### 《ボランティア活動基盤整備》

- ボランティア保険の加入
  - ・ボランティア活動保険加入 834名 (前年度835名)
  - ・ふれあいサロン保険加入 28名 (前年度53名)
- ボランティアグループへの活動助成
  - ・66団体に助成 (前年度69団体)

#### 《その他》

- 高齢者見守り活動事業  
生活支援サポーターによる見守り活動事業の実施
- 備品貸し出し…車椅子(10台)、かるた、カラム、プロジェクターなど

○ゴーヤカーテンプロジェクト

平成 24 年度から環境関係ボランティアと市内 22 か所（保育園 8 か所、幼稚園 6 か所、高齢者施設 5 か所、公共施設 3 か所）にゴーヤのカーテンを普及。種まき、苗作り、棚にする竹の切り出し、棚作り、花壇作り、追肥などをした。

○配食サービス事業

ひとり暮らしの高齢者に対し、ボランティアの協力のもとに手作りの昼食を配達した。

年間 23 回開催	延べ 1,437 個配食	< 昨年計 1,380 個 >
約 62 個/回	配食	

なお、給食サービスで安否確認できなかった一人暮らし高齢者に対して担当民生委員へ連絡して安否確認を依頼

○リサイクルコーナー・手作り品販売コーナーの設置

- ・ 古着を 1 着 100 円で寄付としてのご協力や手芸ボランティア作品を希望される方に購入いただくなど、リサイクルによる支援活動を行った。

収入 137,202 円 を福祉関係事業所へ寄付

○行事などへのボランティア参加協力

- ・ 障害児ホリデースクール事業（社協）  
ボランティア数—延 329 名 （前年度 295 名）

**(7) 広報活動事業 【 1,409,448 円】**

《広報発行事業》

○広報の発行

- ・ 平成 25 年 5 月発行（通刊 20 号 新聞折込）
- ・ 平成 25 年 10 月発行（通刊 21 号 新聞折込）
- ・ 平成 26 年 2 月発行（通刊 22 号 新聞折込）
- ・ ホームページの更新

○広報紙の配布

市内まちづくりセンターや県内社協へ広報を配布した。

**(8) 災害支援活動**

台風 18 号の被災世帯に対し、ボランティアと職員により支援活動を行った。

○市内被災世帯に対する支援

ボランティア 2 日間、延べ 18 名  
職員 2 日間、延べ 8 名

○市外被災地域への支援

甲賀市、高島市 4 日間、職員延べ 12 名



### 3. 受託事業

#### (1) 社会福祉センター管理事業（指定管理） 【 4,475,673 円】

市（社会福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、貸館業務、施設管理業務、また施設事業として関連情報の提供や高齢者の健康推進事業、相談活動を行った。

=貸館状況=

年間延べ 1,178 件 <昨年 1,326 件>
平均 約 100 件/月 利用

#### (2) ふれあいの館管理事業（指定管理） 【 2,657,026 円】

市（社会福祉課）から指定管理（平成 25 年度～29 年度）を受託し、専従の管理人を配置して施設の貸館を含めた管理業務とともに、施設の事業として位置づけられたボランティア活動として次のような事業を行った。

##### 《施設管理事業》

年間延べ 666 件 <昨年 延べ 654 件>
約 56 件/月 利用

##### 《ボランティア活動に関する情報の収集および提供》

- 情報提供 市広報に講座開催に伴う参加者募集記事の掲載
- インターネットによる情報提供

##### 《ボランティア教室や講座の開催、ボランティアの育成》

- ボランティアきっかけづくり講座 全 4 回 参加者 延べ 95 名
- シルバーパソコン教室 全 3 回 参加者 延べ 15 名
- 親子でチーパッパ！「すずめの学校」

就園 1 年前の幼児親子とボランティアとの交流を目的として開催  
毎月第 4 木曜日 10:00～12:00

全 12 回 参加者 延 640 名
約 53 名/回 参加

お母さんのための勉強会の開催 参加者 10 名

- こどもクラブ

就園児・小学生親子とボランティアとの交流を目的として開催  
毎月第 3 水曜日 15:00～16:30

全 12 回 参加者 延 423 名
約 32 名/回 参加

○親子でじゃがいも作り

【園芸ボランティア「四季の花」さんと芋作り】

【しらゆりサロンと交流、お菓子作り】

全4回 親子12組参加

○夏休みに「ふれあい」へ遊びにおいで！

子供たちへの昔遊びやバルーン遊び、囲碁の普及

全8回 参加者 延べ120名参加

## 《たまり場事業》

○ハッピータイム

毎月第3月曜日 13:30～15:00

	内 容	協力ボランティア	参加者
4/15	春の花の寄せ植えづくり	園芸V「四季の花」 6名	41名
5/20	リフォームでファッションショー	手芸V「ひなの会」 14名	41名
6/17	言葉のシャワーをあびてリフレッシュ	朗読V「さざなみ」 7名	18名
7/8	健康チェック	医療生協・個人V 3名	16名
8/19	フラダンスで南国ムード	シルバーフラダンス教室 10名	30名
9/19	災害・防災について	震災経験者のお話 6名	20名
10/21	陶芸体験	陶芸クラブ「えん」 6名	20名
11/18	お押し花カードづくり	シルバー押し花教室 3名	24名
12/16	お正月用寄せ植え	園芸V「四季の花」 5名	15名
1/20	初釜（お抹茶とお菓子で楽しいひと時を）	グループキャロット 15名	7名
2/17	AEDの使い方と心臓マッサージを学ぶ	個人V・医療生協 3名	20名
3/17	名刺づくりに挑戦！	パソコンV「パソフレ」 12名	18名

## 《その他》

○備品貸し出し 囲碁ゲームセット・本・遊具など

### (3) 石部老人福祉センター管理事業（指定管理） 【 8,270,766 円】

市（高齢福祉課）から指定管理（平成25年度～29年度）を受託し、専従の管理人を配置して貸館業務、施設管理業務、また施設事業として高齢者を対象に風呂の利用、サロンの開催、健康推進事業などを行った。

=貸館状況=

年間延べ647件 <昨年 延べ479件>
平均 約54件/月 利用

= “和の湯” 利用状況（利用料1回 100円） =

年間延べ1,434人 <昨年 延べ1,063人>
平均 約120人/月 利用

＝軽運動場管理事業＝

年間延べ 1,044 件	< 昨年 延べ 1,060 件 >
平均	約 87 件／月 利用

○ふれあいサロン「まめ講」の開催

石部老人福祉センターを拠点に介護予防、仲間づくりのためのサロンをボランティアの協力をいただきながら開催した。開催日の昼食は、同センター内で調理したものを提供。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 毎月第2金曜日

年間 12 回開催	延べ 399 人参加	< 昨年延べ 425 人 >
平均	約 33 人／回	参加

○老人福祉センターまつりの開催

老人福祉センター並びに軽運動場の利用促進と利用者同士の交流を図るため、施設利用者（グループ）によるステージ発表や作品展示、また体験コーナー、模擬店を設置した。

実施場所 石部老人福祉センター、石部軽運動場

開催日 平成 25 年 7 月 6 日（土）

来場者 約 500 人

協力団体 35 団体

○シニア応援講座の開催

高齢者が自ら学び、生きがい探しや仲間づくりなど、世代交流をしながら地域づくりに楽しく参加できる「シニア応援講座」を開催した。

①フォークダンス教室（10／2） 参加者 3 名

②そば打ち教室（12／17） 参加者 13 名

③ブリザーブドフラワー教室（2／10） 参加者 25 名

○いきいき百歳体操

毎週木曜日午後から市が推進している介護予防「いきいき百歳体操」を実施した。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 毎週木曜日 午後

登録者	32 名
年間 29 回開催	延べ 725 人参加
約平均	25 人／日、 約 60 人／月 参加

○老人福祉センター「みんなの日」

高齢者が気軽に集える場「みんなの日」を月1回開催し、軽食や喫茶の提供、ボランティアの協力を得て歌声喫茶や映画会などのイベントを行った。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日 毎週水曜日

毎月4回開催	延べ960人参加
約平均20人/回	参加

○一般高齢者介護予防事業（男性の料理教室事業）

男性に「料理」や「食」に関心を持っていただき、仲間を増やして、健康への大切さの認識を深める機会を提供した。

実施場所 石部老人福祉センター

実施日 毎月第3金曜日

年間10回開催	延べ57人参加	<昨年延べ71人>
平均	約6人/回	参加

○高齢者いきいき教室

60歳以上の方を対象に健康維持、介護予防、仲間づくりのための教室を開催した。

実施場所 石部老人福祉センター

開設日	毎週月曜日午前登録者	14名	<昨年12名>
年間43回開催	延べ379人参加	<昨年延べ347人>	
約平均	8人/日、	約31人/月	参加

(4) 生きがい活動支援通所事業（生きがい対応型デイサービス事業）

**【 3,496,931円】**

=和（なごみ）の家=

65歳以上の家に閉じこもりがちな高齢者に趣味等の生きがい活動の機会と場を提供することを目的に実施した。

実施場所 石部軽運動場（石部老人福祉センター併設）

開設日 毎週火・水曜日

登録者	15名	<昨年17名>
年間98回開催	延べ611人参加	<昨年延べ761人>
平均	約8人/回、	約50人/月 参加
利用者の送迎	611人/年	

(5) 高齢者生きがいサロン事業 【 2,352,960 円】

《おたっしゃる一む》

60 歳以上の高齢者の心身の健康を維持し、閉じこもりや認知症を予防し、地域で安心して生活できることを目的に実施した。

実施場所 松籟会館 (湖南省市石部西二丁目 12-6)

開設日 毎週月・木曜日

登録者 10 名 < 昨年 12 名 >
年間 93 回開催 延べ 593 人参加 < 昨年延べ 504 人 >
平均 約 7 人 / 回、約 49 人 / 月 参加
利用者の送迎 593 人 / 年

《みくもいきいきサロン》

65 歳以上の方を対象に健康維持、自立支援の助長、介護予防仲間づくりを目的に教室を 23 年 1 月より開催している。

実施場所 三雲地域人権福祉交流センター  
(三雲ふれあいセンター)

開設日 毎月第 1、第 3 金曜日

登録者 43 名
年間 21 回開催 延べ 274 人参加
平均 約 13 人 / 回 参加

(6) 障がい児ホリデースクール事業 【 2,845,767 円】

学校の長期休暇期間中に障がい児を対象に地域やボランティアの方々とふれあいながら健やかな一日を過ごせるよう、ホリデースクールを開催した。

① 夏季休暇中の 20 日間 (7 月 23 日から 8 月 28 日)

参加児童生徒	延べ	286 名	< 昨年 302 名 >
スタッフ	延べ	218 名	< 昨年 205 名 >
ボランティア	延べ	194 名	< 昨年 226 名 >
サポートボランティア	延べ	22 名	< 昨年 50 名 >

※ 子どもたちとふれあう以外に調理や外出時の会場設営などで事業をサポートするボランティア

② 冬期休暇中の 2 日間

12 月 23・24 日の 2 日間

「クリスマス会」 社会福祉センター

参加児童生徒	延べ	31 名	< 昨年 38 名 >
スタッフ	延べ	24 名	< 昨年 20 名 >
ボランティア	延べ	20 名	< 昨年 25 名 >
サポートボランティア	延べ	25 名	< 昨年 8 名 >

③春期休暇中の2日間

3月26・27日の2日間

「スポーツをしよう」 湖南省総合体育館並びに野洲市なかよし館

参加児童生徒	延べ	26名	<昨年23名>
スタッフ	延べ	20名	<昨年23名>
ボランティア	延べ	17名	<昨年14名>

(7) ファミリーサポートセンター事業 【 3,023,850円】

子育て支援のため、子ども（未就学児・小学生が対象）を一時的に保育を希望される保護者と子どもの世話ができる方がそれぞれ会員となり、ニーズに合わせて保育機会の提供を行った。

(湖南省中央一丁目38 平和堂甲西中央店内)

開設日時 毎週月曜日～金曜日 10:00～17:30

①センター運営事業

・会員交流会の開催 7月10日、12月12日、2月27日  
延べ24名参加

・休日（土曜日）特別開所 7月13日、12月7日、3月15日

・会員、一般向け子育て研修会の開催 9月4日、9月18日  
10月2日、10月30日、11月6日 延べ47名参加

・会員通信の発行

・平成25年度会員登録者 提供会員 84名  
依頼会員 206名

両方（提供依頼兼務）会員 28名

② 活動実績と内訳状況の内訳

項目	回数	<昨年>
保育園・幼稚園の送り	2	<2>
保育所・幼稚園の迎え	2	<60>
放課後児童クラブ（学童保育）の迎え	13	<0>
子どもの習い事等の場合の援助	10	<55>
保育所・学校等休み時の援助	5	<0>
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	2	<3>
保護者等の休職活動中の援助	0	<0>
保護者等の外出の場合の援助	21	<3>
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	0	<5>
その他（多胎児の保育援助）	137	<107>
合計	192	<235>

サポートボランティア 延べ 0名 <昨年6名>

**(8) 社会を明るくする運動事業 【 190,000 円】**

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、明るい社会を築こうとする全国的な運動を市内において展開した。

- ① 研修会の実施 期 日 平成 25 年 7 月 1 日 (月)  
内 容 更生活動に関する講演、法務大臣メッセージ伝達式、のぼり旗掲出活動 (60 本)  
参加者 約 90 名
- ②街頭啓発活動 7 月 3 日 平和堂菩提寺店前  
7 月 4 日 平和堂甲西店前  
7 月 5 日 平和堂甲西中央店前  
平和堂石部店前  
参加者 市内中学生、運動関係者

**4. 居宅介護事業**

利用者との契約に基づき、高齢者および障がい者の居宅介護サービスを包括的に進めた。

**(1) 居宅介護支援事業 【 8,610,530 円】**

介護保険制度における高齢者福祉サービスを中心に、その利用に関する相談や利用援助、また関連する高齢者事業への調整や関係機関との連携を行った。

居宅介護支援業務	介護予防マネジメント業務
利用者 延べ 585 人/年	利用者 延べ 81 人/年
約 49 人/月 <昨年約 48 件/月>	約 7 人/月 <昨年約 8 件/月>

**(2) 訪問介護事業 (ホームヘルプサービス) 【 56,159,395 円】**

**《訪問介護事業》**

介護保険事業として、高齢者の方々を中心に、身体介護や生活援助の訪問介護サービスを提供した。

介護保険訪問	介護予防訪問
利用者 延べ 848 人/年 <昨年 843 人/年>	利用者 延べ 137 人/年 <昨年約 126 人/年>
約 70 人/月 <昨年 70 件/月>	約 11 人/月 <昨年 11 人/月>
訪問回数 延べ 17,074 回	訪問回数 延べ 951 回

＜昨年 17,957 回／年＞	＜昨年 916 回／年＞
約 1,422 回／月	約 79 回／月
＜昨年 1,496 回／月＞	＜昨年 76 回／月＞

### 《湖南省ホームヘルプサービス事業》

湖南省より委託を受け、要介護認定で自立と判定された方や、介護保険事業の対象とされない方を対象に生活援助サービスを提供した。

延べ 51 名、177 回／年	＜ 昨年計 50 名、172 回／年＞
約 4 名／月、14 回／月	＜ 昨年計 4 名、14 回／年＞

### 《外出支援サービス事業》

独居高齢者等への通院や買い物の移送サービスを市受託事業として実施した。

延べ 34 名、43 回／年	＜ 昨年計 85 名、117 回＞
約 3 名／月、4 回／月	＜ 昨年計 7 名、9 回＞

### 《多胎児家庭ホームヘルプサービス事業》

多胎児を持つ世帯に対し、家事や育児などの生活支援ホームヘルプサービスを市受託事業として実施した。

延べ 30 名、93 回／年	＜ 昨年計 24 名、162 回／年＞
約 3 名／月、8 回／月	＜ 昨年計 2 名、13 回／月＞

### 《特定旅客自動車運送（福祉有償）事業》

特定旅客自動車運送事業者（道路運送法 43 条及び 78 条を取得）として介護保険事業及び障がい者総合支援事業の契約者を対象に、通院や買い物など契約サービスと一体的に移送サービスを実施した。

延べ 176 名、325 回／年	＜昨年計 57 名、226 回／半年＞
約 15 名／月、27 回／月	＜昨年計 10 名／月、13 回／月＞

## (3) 障がい者総合支援事業 【 3,256,085 円】

障がい者総合支援制度に基づき、本会では居宅介護事業（身体障がい者ホームヘルプサービス・同行援護サービス）を実施し、利用対象者にサービスを提供した。

ホームヘルプサービス	同行援護サービス
利用者 延べ 147 人／年 ＜昨年 89 人／年＞	利用者 延べ 110 人／年 ＜昨年約 185 人／年＞
約 12 人／月 ＜昨年 7 人／月＞	約 9 人／月 ＜昨年 15 人／月＞
訪問回数 延べ 778 回	訪問回数 延べ 353 回



＜昨年 302 回／年＞	＜昨年 609 回／年＞
約 65 回／月 ＜昨年 25 回／月＞	約 29 回／月 ＜昨年 51 回／月＞

## 5. 善意銀行事業

### (1) 善意銀行事業 【 2,161,914 円】

市内外から善意による金品の寄付を受け、寄付金の一部については地区活動助成事業やボランティアセンター活動事業に役立てるとともに、車いすについては福祉機器貸出事業に、シャワー用車いす等は介護事業用備品として、また米など食料品は生活困窮者や施設へ提供するなど、多方面へ役立てた。

寄付総額 1,584,359 円

寄付物品 車いす 5 台、米 310 kg、ほか (50 件)

#### 《催し物器具の貸出》

地域での行事やイベントに必要な催し物器具を次のとおり貸し出した。  
また、利用の多い器具を新調した。

貸出件数 合計 51 回 77 台

	かき氷機	綿菓子器	ポップコーン機	たこやき器	鉄板
25 年度	20 件	25 件	22 件	3 件	7 件
＜昨年度＞	(30 件)	(20 件)	(20 件)	(2 件)	(5 件)

#### 《福祉機器貸出事業》

車椅子の貸し出し 貸出回数 71 回 (26 年 3 月末現在)  
(48 台)

#### 《福祉自動販売機設置事業》

市内まちづくりセンター9 施設、社会福祉センター、老人福祉センターおよび甲西図書館に自動販売機を設置し、福祉事業への財源確保に努めた。